

## 令和7年年頭の挨拶

## 年頭挨拶

「新しいチャレンジの継続」に  
取り組み、業界の活気付けに全日本一般缶工業団体連合会 会長  
西日本一般缶工業協同組合 理事長

清水 雄一郎



明けましておめでとうございます。

連合会会員並びに賛助会員、関係各社の皆様、昨年は当連合会の活動にご協力いただき誠にありがとうございました。また、皆様におかれましては、つつがなく新しい年をお迎えのこととお慶び申し上げます。

2024年は能登半島地震と羽田空港の航空機衝突事故という、不安と悲しみで幕を開けました。パリオリンピックでの日本人選手の活躍やドジャース大谷選手の活躍など、スポーツにおける明るいニュースもありましたが、日本国内の経済状況や一般缶を取り巻く環境は大変厳しかったように感じます。様々なコストアップに突き動かされて価格転嫁を試みたものの、売上げや収益の維持向上に苦慮する企業が多かったのではないのでしょうか。

2025年は大きな事件もなく穏やかに幕を開けましたが、昨年同様厳しい環境が続くことが予想され、連合会各社は昨年以上の努力と工夫を重ねる必要があるのではないかと思います。厳しい環境下での経営が続きますが、このような中でも前向きに

新たなことに挑戦し続ける姿勢が大切ではないかと考えます。継続は力なりという言葉があります。「同じことを継続する」のではなく、「新しいチャレンジを継続する」

ことが、各社の自力を底上げし視野と選択肢が広がることにつながるのではないのでしょうか。連合会所属の企業の中にもこの「新しいチャレンジを継続する」会社は徐々に増えつつあるように感じます。同業他社のチャレンジの共有や、そこから得られる刺激を糧に連合会各社が新しいチャレンジに取り組み環境が生まれ、各社が独自の成長を遂げ、結果として一般缶業界が良い方向へと向かうと信じております。

今年も連合会内で「新しいチャレンジ」に取り組む企業が一社でも増え、業界が活気付くことを願いつつ、新年のご挨拶を締めくりたいと思います。

本年もどうぞよろしくお願い申し上げます。

## 年頭所感

GX推進による環境整備・  
万博開催で最先端技術の発信  
と成長の機会になる一年に

経済産業省製造産業局 金属課長

鍋島 学



申し上げます。

昨年は、年初の能登半島地震をはじめ、台風や豪雨など、多くの自然災害が発生した一年でした。被災された方々に、改めて心よりお見舞いを申し上げます。経済産業省としても、復旧・復興支援に引き続き取り組みまいります。

## (業況)

鉄鋼業においては、昨年、自動車や建設分野の需要の弱さから、多くの製品分野において生産や販売が前年比で減少しました。自動車の生産体制が回復するにつれて、一時期の落ち込みから需要が戻ってきた一方で、海外における需要の弱さなどから生産・販売が伸び悩む局面もみられました。

本年は、自動車の安定的な生産や再開発案件の始動、「賃上げと投資が牽引する成長型経済」の実現などを通じて、生産や販売が上向いてくることを期待します。

特に、中小企業も含めて賃上げを継続していくためには、適切な価格転嫁が重要となります。政府においても、労務費の適切な転嫁のための価格交渉に関する指針を策定するとともに、関係省庁連絡会議を開催し行動計画の進捗状況を確認するなどとして、環境整備を進めています。

## (GXの推進)

さて、脱炭素社会への移行は「待ったなし」の状況であり、鉄鋼業界においても、こうした困難なプロジェクトに取り組み、経済成長につなげていくためのGX投資が検討され、実施されようとしています。政府においても、様々な支援措置を講じて、鉄鋼業のGX投資を支援しています。

鉄鋼製品分野では、昨年、「GX推進のためのグリーン鉄研学会」を開催し、市場拡大に向けた様々な論点について議論を

(はじめに)

令和7年の新春を迎え、謹んでお慶び申

深めてまいりました。年明けにも研究会のとりまとめを行っていきませんが、研究会で得られた知見も踏まえて、市場拡大に向けた環境整備を行ってまいります。  
(万博)

本年は大阪・関西万博が4月13日から半年間にわたり開催されます。「いのち輝く未来社会のデザイン」をテーマとし、世界中の来場者を出迎え、「未来社会の実験場」として、最先端の技術を発信する場となります。また、新たな産業の誕生・成長の機会になることも期待されます。経済産業省も成功に向けて取り組んでおり、ぜひ、ご家族やご友人と一緒に足を運んでいただき、すようお願ひ申し上げます。  
(おわりに)

最後に、皆様の益々の御発展と、本年が素晴らしい年となることを祈念して、年頭の御挨拶とさせていただきます。

## 年頭挨拶 一般缶業界の発展と他容器との差別化、付加価値提案を 目指し実り多き一年に

東日本一般缶工業協同組合 理事長

最上 裕光



あけましておめでとうございます。

謹んで新春のご挨拶を申し上げますとともに、日頃より当組合の活動に多大なるご

支援とご協力を賜り、心より感謝申し上げます。

昨年を振り返りますと、我々の業界を取り巻く環境は依然として厳しい状況が続いており、原材料やエネルギーコストの高騰、物流の2024年問題、人手不足など多くの課題に直面いたしました。しかしながら、当業界を取り巻く皆様の努力と知恵により、これらの課題を前向きに取り組み、無事一年を過ごすことができました。ありがとうございます。

本年はこれまで以上に、一般缶業界の発展と他容器との差別化、付加価値提案を目指し、お客様や社会から必要とされる缶を皆様と共につくっていききたいと思っております。

また、環境問題への対応は我々の業界においても社会にとっても重要な課題であり、スチール缶リサイクルの啓蒙活動や循環型社会の実現に向けた活動及び普及を、業界を取り巻く皆様と共に進めていきたいと考えています。当業界で遅れているデジタルトランスフォーメーション(DX)の取り組み、IT、ロボットなどを活用した生産性の向上と効率化は人手不足対策、働き方改革に今後は重要なテーマとなります。

さらに、若手人材の育成と確保も我々の未来にとって欠かせない課題です。最近では製造業に従事したいという若者がめっきりと減りました。今後も一般缶の魅力発信し、次世代を担う人材が当業界に興味と働きがいを感じる環境を整えることで、万全な基盤を築いていきたいと考えております。

当組合は、これらの課題に対して引き続き積極的に取り組み、会員企業の皆様が抱える問題を共有しながら改善に取り組んでまいります。

結びに、本年が皆様にとりまして実り多き一年となりますことを心よりお祈り申し上げますとともに、引き続きご支援ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。

## 年頭挨拶 できることの積み重ね、 できるまで諦めない、 成長している実りある年に

中部製罐工業協同組合 理事長

安藤 宏行



皆様には、令和7年の年頭に当たり、新年のご挨拶を申し上げます。

旧年中は、中部製罐工業協同組合に対して多大なご理解とご協力を賜り感謝申し上げます。本年も昨年同様よろしくお願ひ申し上げます。

令和6年は、正月を迎え、日本中が希望に満ち溢れる中、午後4時に石川県能登地方がマグニチュード7.6強の大地震に見舞われました。また、同地方においては、7月に豪雨が襲い、更なる被害を受け、未だ復旧の目途が立っていません。

度重なる自然災害を目の当たりにし、ますます自然環境のバランスが崩れてきているように感じ、カーボンニュートラルの重要性について改めて考えさせられました。

また、日本の所得水準は、先進国でかなり低くなってきたことは、円安の影響もあ

りますが、インバウンドで海外より来日した観光客と交流すると肌で感じます。最低賃金は、毎年、政府主導で上昇していますが、労働者人口減少の影響もあり、DX化投資が必要となります。助成金等とともに人材教育も必要です。高い生産性・品質向上は、やはり最大の課題となります。AIを身の丈で取り入れるとともにロボットの導入は、日本の多品種少量生産に対応しやすく有効です。より積極的な変化が試されます。

トランプ2.0が始まると、アメリカへ輸出するには関税障壁ができるといわれますが、半導体などの業種では、TSMCが、先端半導体生産拠点として日本で工場投資、また技術開発が多岐にわたって行われるようになり、今後が期待されます。

中部地方では、昨年愛知県でステーションAIというスタートアップ支援施設ができました。海外での成功事例をもとに、自由に交流しやすい環境を提供しつつ、産官学および海外のスタートアップとの連携を図ることができるように楽しみます。また、地元企業のバックアップもかなり厚いようです。

一方で、手前味噌ではありますが、昨年当社では、愛知県知事より製缶技術で優秀技能者の表彰を賜りました。愛知県は、物づくりの重きを置いており、技能の伝承の難しさ、大切さをリスペクトしていただきます。造成していく企業風土を守っていくことも重要です。

できることを積み重ねて、できるまで諦めずに「脱皮」をして成長していきける実りある年としていきましょう。



## デジタル化へ向け高齢者への IT教育も必要に

全日本金属印刷工業協同組合連合会 会長

中田 正和



明けましておめでとございます。

皆様におかれましてはご健勝にて新年を迎えられたこととお慶び申し上げます。

さて、昨年を振り返ってみますと皆さまの記憶にも鮮明に残っているように元旦に石川県能登地方での大規模な地震が発生、津波も襲来。翌2日には羽田空港でのジェット機と海上保安庁の飛行機との衝突炎上事故。驚き慄く歳の始まりでした。その後、夏には南海トラフ地震の注意報が出され、日本国民が地震に戦々恐々とした年でした。

政治資金問題（いわゆるウラ金問題）で自民党議員が逮捕されたのも1月でした。この問題は世間からの批判が大きく、自由民主党では40人近くを処分したにもかかわらず、岸田総理は辞任、その後の衆院選では与党が過半数割れの結果となり、政治資金の法律改正も余儀なくされる結果となり、未だに尾を引きずっています。

そんな中、日本の平均株価がバブル期越えを果たしたり、マイナス金利が解除されたにもかかわらず円が34年ぶりに1ドル160円台まで安値をつけたり、政治経済では落ち

着かない1年だったという印象です。

スポーツ面では、パリオリンピックでは金メダル20個、銀メダル12個と海外の夏季五輪では過去最高となりました。また、何と言っても大谷翔平の『50:50』『リーグ最優秀選手』、日本人にとって昨年一番の嬉しいニュースではなかったでしょうか。

アメリカでは圧勝したトランプ次期大統領がその勝利宣言で『アメリカの黄金時代が来る』と述べたそうです。アメリカファーストの再来です。世界各国にどんな影響を及ぼすのか期待と不安の入り混じった状況です。日本では昨年の衆院選は与党の過半数割れに終わったものの今年夏には衆参同時選挙になる可能性もある参議院選挙があります。それに向け各党とも政策に『金』をちらつかせています。今年の選挙で大いに注目を浴びた国民民主党は『令和の所得倍増計画を実現する』と言い、立憲民主党は『成長の柱となるデジタル産業などへの投資を重点的に行う』と唱えています。自由民主党も『物価上昇を上回る賃上げ』『成長と分配の好循環が力強く回っていく』『経済の実現』『経済あつての財政、デフレ脱却最優先の財政運営』などを訴え、議席の回復を狙っているようです。これら公約がスローガンだけに終わらず、与野党とも政策を押し進めてくれれば日本経済もきつと好転していくことでしょう。

今年の前々からささやかれている『2025年問題』の年となってしまいました。

800万人を超える人口が75歳以上になる。これは全日本人の4分の1が後期高齢者となることです。更に2035年には3人に1人が65歳以上になるようです。

労働力不足、社会保障問題、医療・介護方面等多岐にわたり更なる深刻さを増して

いきます。

我々金属印刷業界にとって今でもすでに問題となっている労働力不足は重大な課題です。高齢者の雇用継続はベテランの技術・経験を生かせるので大いに歓迎するところですが、ただ、高齢に伴い肉体的な衰えは防げません。長時間の労働の見直しや健康管理も今までより必要となるでしょう。

また、世の中は益々デジタル化していきま。我が業界もデジタル化をしていかないと存続できなくなるでしょう。高齢者がデジタル化に対応しきれるよう高齢者へのIT教育も必要になってくるでしょう。中小企業にとって高齢化社会は頭の痛い問題です。会社自体が変化していかなくては存続の危機を迎えることになりかねません。何とか知恵を絞って乗り越えていきましょう。

今年には巳年です。クネクネとした蛇を意味する人は多いと思いますが、金運アップの象徴として抜け殻や蛇のチャームを財布に入れたり、ヘビ皮の財布そのものを使用する人もいます。

ヘビが金運と結びついているのは、白蛇が金運をつかさどる弁財天の家臣とされているためだそうです。また、『巳』と『実』が同じ読みを持つことから『実(巳)入りする』収入がある』と掛詞にもなっています。また十干では今年が乙、2025年は『乙巳』となり、『再生や変化を繰り返しながら柔軟に発展していく』年だそうです。

我々もヘビのように脱皮を繰り返して、生命力豊かに再生していきたいものです。金運のみならず運氣を挙げていけることを祈ります。

本年の皆様のご多幸とご活躍をお祈りし、新年のご挨拶とさせていただきます。

## 人口減、労働力不足等難題の 中サプライチェーンの役割を 果たしていく

東京都鉄力地金商業協同組合 理事長

松苗 昭文



あけましておめでとございます。

全日本一般缶工業団体連合会様には長きにわたり、ひとかたならぬご愛顧、ご支援を賜り、厚く御礼申し上げます。本年も変わらぬお付き合いの程、宜しくお願い申し上げます。

今年のお正月は穏やかに迎えられた方も多く居られたこと存じます。

一方、昨年元旦に能登半島地震、またその後の大雨により、被災された皆様には改めましてお見舞い申し上げます。

さて、昨年の世界を振り返って見ますと、本年2月で3年目を迎えるロシアによるウクライナへの侵略戦争も長期化の様相、中東における紛争も止まず、東・南シナ海でも争いの火種がくすぶってまいりました。

また、米国ではバイデン政権からトランプ二次政権への移行がこの1月になされることとなりました。米国の第一主義と謳われるその政策如何によっては我々日本も大きく影響を受ける可能性が出てまいっております。日本国内では岸田政権から石破政

権へと移行となりました。与党の惨敗により、政権交代はならずも政界の勢力地図が大きくかわることとなり、今後の政策への影響が必至の様相です。益々先の見えない混沌とした状況になったと痛感しております。

一方、嬉しいニュースとしては、パリオリンピックで海外開催初の金メダル20個の日本勢の活躍がありました。また、大リーグでは大谷選手がドジャースに移籍し、指名打者として前人未踏の記録（本塁打54本盗塁59）を達成し、ワールドシリーズにも優勝、三度目のMVPを獲得しました。この他にもスポーツ界においては数々の日本選手の素晴らしい活躍を目の当たりにし、感動と勇気をもらいました。また、日本原水爆被害者団体協議会がノーベル平和賞を受賞された事も記憶に新しいニュースとなりました。

さて、今年はどうな年になるのでしょうか？まずは穏やかで平穏な年になることを願うばかりですが、業界といたしましては、未だコロナ以前の需要には回復していないという厳しい状況が続いております。今後とも人口の減少、労働力不足、環境問題といった難題を抱えながら、「材料をお届けする」というサプライチェーンの一角として役割を果たしていくべく頑張っている所存です。

今年の干支（きのと・み）にある巳（蛇）にちなみ、時代変化の中で脱皮や治癒を模索しながら再生していけるように、私どもにできますことを愚直に行動に移してまいりますと思っております。

本年も一般缶業界の皆様にとりまして新しい活気溢れる明るい年になりますよう祈念致します、新年のご挨拶とさせていただきます。

## 西日本一般缶工業協同組合

# 組合互礼懇親会を開催

西日本一般缶工業協同組合は令和7年1月7日、大阪・梅田のホテルグランヴィア大阪で新春の組合互礼懇親会を開催し、組合員会社など10人が出席した。

清水雄一郎理事長は冒頭「昨年は組合活動にご協力いただき有難うございました。昨年の年初は、能登半島の地震や飛行機事故で不安な幕開けでした。今年は天気も良く穏やかな年末、年始で良かったと思っている。一般缶を取り巻く経済状況を見ると今年も中々厳しい状況と感じるが、前向きに新しいものを求めていく。今年をしっかりとしいでいけたら、いい流れになってくると思う。価格転嫁などを進めて行く中、やり遂げていかなければならないことを踏まえて、業界全体として色々な面での対応が必要です。2025年も前年を乗り越えるために、更なる“勉強”をしていくことも必要であり、今の時代の流れをつかんでいきたい。皆様にご協力いただくとともに情報交換し、市場の変化を見極めながら情報を共有していく。今年も皆様と親交を深めていきたい」と挨拶した。

次いで渋谷剛志副理事長の先導で乾杯し、懇親に移り、賀詞交歓と和やかな懇談が行われた。最後に、小西康晴副理事長が閉会の挨拶を行い盛会裡に散会した。



互礼懇親会の会場風景

## 工場見学会を開催



改善及び生産性向上報告会(エヌエス金属工業(株)にて)

東日本一般缶工業協同組合

東日本一般缶工業協同組合は令和6年10月17日、茨城県つくば市緑ヶ原のエヌエス金属工業(株)本社・工場で見学会を開催した。

組合員企業8社12人が参加した。最初に原材料置き場からスタートし、被せ缶用の自動生産ライン、完成品の品質検査工程、最終梱包・出荷工程の順に見学した。参加者からは、工場の効率的な生産体制や品質管理の厳密さに驚き、生産ラインでは自動化が進んでいる一方で人の手による確認も重要であることが分かり、自動化技術と人の手による品質チェックがバランスよく組み合わさっていたとの感想が寄せられた。

## 中部製罐工業協同組合

# 令和6年度 愛知県優秀技能者を受賞 (あいちの名工)

令和6年11月18日、中部製罐工業協同組合の推薦により、日東製罐(株)の従業員加藤智頭氏、近藤泉氏の両名が優れた技能を持ち、その技能を通じて社会に貢献した者に贈られる令和6年度愛知県優秀技能者(あいちの名工)という荣誉ある賞を受賞した。受賞された両氏は「私たちにとりましても大きな励みとなると同時に中部製罐工業協同組合全体の技能の高さと努力の結晶が認められた証でもある。今後もこの荣誉に恥じぬよう、技能の向上に努めるとともに製缶業界全体の発展に寄与すべく精進していく」と感想を寄せられた。



大村秀章愛知県知事と記念撮影  
左側が加藤智頭氏



## 令和7年 新年賀詞 交歓会



新年賀詞交歓会の会場風景

## 清水会長

全日本一般缶工業団体連合会

# 「皆様と知恵を出し合い今までにない 新しい取組でこの1年を乗り切る」

全日本一般缶工業団体連合会は令和7年1月17日、東京・千代田区大手町のLEVEL XXI東京會館で新年賀詞交歓会を開催した。所属員会社、特別会員、特別賛助会員、一般賛助会員、協力会員、賛助会員、協賛会員など145人が参集し、中田則彦運営委員の司会で進行した。



主催者挨拶をする清水会長

挨拶に立った清水雄一郎会長は「今年は穏やかな年明けを迎えて良い年になると思ったが、現実には人件費等によるコストアップやお客様への価格転嫁等もあり、今年も厳しい年になりそうだ。しかし、なすべきことは、人口減少や貨幣価値の上からない世の中で同じことを続けても縮小していく時代だと思うので、今までやってきた

ことから少し、はみ出すようなことをやってはじめて現状維持になると思う。当連合会としては、皆様と知恵を出し合って今までにない新しい取組を行っていききたい。今年の干支で言うと「ヘビィ」な年になりそうだが、新しい事に取り組んで年末には、実りある年であったと言えるよう、皆様と協力し合いながら、この1年を乗り切っていきたい」と新年の抱負を語った。



来賓挨拶をする鍋島金属課長

続いて来賓を代表し、経済産業省製造産業局の鍋島学金属課長が「経済全体では株価の上昇や賃上げなどで明るい結果が出ているが、それらが消費につながっておらず、経済が良くなっているという実感につながらないことが大きな課題になっている。政府としては賃上げと成長型経済ということを進めている。また、労務費の適切な転嫁のための価格交渉に向けては、関係省庁連絡会議で賃上げにつながっていく好循環を考えている。2025年4月13日から関西万博が開催されるので、ぜひ現地に足を運んでいただきたい」と挨拶した。

次いで鉄鋼メーカーを代表してJFEスチール(株)薄板・缶用鋼板営業部の内田裕之第1営業室長が「最近では休日日数や賃金額で会社を選ぶ人が増えているが、業界の存在意義を大きく広めていく1年にしたい」と挨拶し、乾杯の音頭をとった。歓談のあと安藤宏行副会長の中締めで散会した。



挨拶をする内田第1営業室長



中締めの挨拶をする安藤副会長



司会者  
中田運営委員

## 令和6年度 「情報交換会」を開催 活発なグループ討議を展開



営業流通チーム「情報交換会」の会場風景

東日本一般缶工業協同組合は令和6年11月22日、鉄二健保会館で流通・交流委員会企画による「令和6年情報交換会」を開催し、組合員ら、17人が参加した。司会進行は神宮善太郎営業流通チーム副委員長が務めた。

第一部では、筒井久流通・交流委員長が全日本一般缶工業団体連合会で半期毎（4～9月期、10～翌年3月期）に実施している「景気動向等に関するアンケート」の集計結果のうち、東日本組合分を集計した結果を報告した。次いで第二部の「価格転嫁に関する情報交換会」に移り、参加者はA・B・Cの3グループに分かれ、それぞれのグループで討議が行われた。討議終了後にグループ長による発表があり、Aグループからは日進製缶(株)代表取締役の小黒保満氏、Bグループからは東邦金属工業(株)業務チーム特販課係長の神谷美鈴氏、Cグループからは(株)神宮製作所営業部課長の神宮功大氏がそれぞれ報告した。最後に筒井委員長がまとめを行ったあと、(株)東都製缶代表取締役の横川達也氏が閉会の挨拶を行い閉会した。

## 4S会会議開催



4S会会議の会場風景

### 第2議題 各業界における課題、問題点

4S会の会議は、令和6年10月22日午後3時より尼崎市の「ホテルヴィスキオ尼崎」において開催された。

関西地区の西部十八リットル缶工業組合、大阪金属印刷工業協同組合（幹事）、西日本一般缶工業協同組合と西日本クラウンズ会から16名が出席した。

### 第1議題 各組合の業界状況並びに関連諸問題について話し合われた。

- 西日本一般缶工業協同組合の清水理事長「価格転嫁が進んで全体に値上げ実績が上がってきており、コロナの影響もなくなり、西日本組合員各社で若干の前年プラス売上げとなった。数年来の鋼材の大幅値上げや副資材等の値上げへの対応や価格転嫁への取り組みも、ほぼ見通しがついたと認識している」
- 業界として構造的な変化が求められるが時間がかかることも事実、先々の投資も必要となる。

- 製缶メーカーでの設備老朽化による生産移管や業界内での分業体制の構築は今のところ見えないが、各社設備の有効活用という面で近い将来に動きがありそう。
- 各社の得意分野や生産キャパによる分業は、企業の存続という面でも重要である。
- 一般缶組合では、「競争から共創へ」という言葉を意識している。ライバル会社間の棲み分けは進めていく必要がある。
- 食缶関連で品質要求が厳しくなった上に価格改定できず苦慮している。
- ユーザー業界でも菓子メーカーは利益を出しているが、お茶やケーキの小規模会社は厳しい状況にある。
- 無地缶集積でフィルム印刷包装という商品も出ている。
- 海外鋼材は、品質上の不安からあまり使用したくない、虫ツキ等が多い。
- 印刷のインクジェット化は、設備価格の割に生産スピードが遅いため進まず。

各社、各業界の課題が顕在化しており、確実に課題解決していくことが重要である。また、引続き情報交換し、協力していくことで会議を終えた。

## 岩橋理事、下宮理事が 大阪府中小企業団体 中央会会長賞を受賞

令和6年9月18日、大阪府大阪市中央区のマイドームおおさかで開催された大阪府中小企業団体中央会の第66回中小企業団体大阪大会において、西日本一般缶工業協同組合の岩橋徹理事及び下宮正裕理事が多年組合の経営に尽力され組合発展に寄与した功績により、同中央会会長賞を受賞した。

## 東京都産業振興功労者表彰を受賞 東日本一般缶工業協同組合 竹内雅夫副理事長

令和6年10月1日、都民の日に東京都庁第一本庁舎5階大会議場で行われた令和6年度東京都功労者表彰式において、東日本一般缶工業協同組合の竹内雅夫副理事長＝写真＝が産業振興功労者として表彰された。「産業振興功労」は東京都の産業振興、より良い文化生活の発展のため尽力した方々を東京都が表彰するもの。



東京都産業振興功労者表彰を受賞した竹内雅夫副理事長

## 「エコプロ2024」に共同出展 当ブースには小中学生 中心に多数来場

全日本一般缶工業団体連合会は令和6年12月4日から6日までの3日間、東京・有明の東京ビッグサイトで開かれた「エコプロ2024」にスチール缶リサイクル協会、全国十八リットル缶工業組合連合会と共同出展した。

当連合会では、会員各社から提供いただいている一般缶並びに一般缶の8つの特性と金属印刷の流れについて説明したパネルを展示した。また、当連合会のDVD「人の技と夢が詰まった一般缶」の中の「一般缶と3R（ス



一般缶(スチール缶)の  
エコを学ぶ子供たち

リーアール)」、スチール缶リサイクル協会のDVD「スチール缶リサイクルのおはなし」、全国十八リットル缶工業組合連合会のDVD「18リットル缶戦隊ゴガロンジャー」を合体させたビデオをエンドレスで上映した。

当展示ブースには、3日間でおおよそ3千人強の方々が来場した。この展示会を通じて「リサイクルの優等生である一般缶(スチール缶)」の良さをおおいにアピールした。

### 令和6年6月～11月までの一般缶生産出荷実績

(単位:t)

	年月	生産	出荷		在庫
			販売	その他	
経済産業省データ	6. 6	3,490 (4,746)	3,546 (4,414)	20 (21)	9,866 (11,468)
	7	3,610 (3,994)	3,703 (4,011)	30 (3)	9,739 (11,440)
	8	3,176 (3,683)	3,148 (3,413)	34 (20)	9,731 (11,689)
	9	3,659 (4,156)	3,526 (3,936)	7 (21)	9,853 (11,884)
	10	4,543 (4,505)	4,177 (4,321)	21 (22)	10,197 (12,047)
	11	4,505 (5,369)	4,361 (4,993)	48 (2)	10,283 (12,417)

	年月	生産	出荷		在庫
			販売	その他	
連合会データ	6. 6	2,722 (3,419)	2,741 (3,338)		7,534 (7,409)
	7	2,876 (3,149)	2,911 (3,061)		7,464 (7,604)
	8	2,694 (2,977)	2,673 (2,764)		7,526 (7,583)
	9	2,890 (3,225)	2,712 (2,943)		7,656 (7,956)
	10	3,485 (3,589)	3,378 (3,467)		7,794 (8,081)
	11	3,445 (3,615)	3,418 (3,605)		7,828 (7,934)

( )内は前年同月実績  
経済産業省データは生産動態統計鉄鋼月報より転載

### 西日本一般缶工業協同組合

## 合同部会を開催



合同部会参加の皆さん

西日本一般缶工業協同組合は令和6年11月14日、大阪・天王寺区石ヶ辻町のホテルアウイーナ大阪で合同部会を開催した。出席者は7人。

### 1 各社の近況報告について

令和6年6月以降での各社の近況報告では、幅広い分野(人件費、物価等)の値上げ等を含めたことを考慮して、価格転嫁への対応をはかっている。  
今後も引き続き原材料のコストアップ等への対応を行っていかねばならない。

### 2 物流の『2024年問題』への対応について (継続しての情報交換)

各社で対応が違ってくるが、運転手の待ち時間がないような効率化をはかっていたい。  
先行き幅広い動きで、コンテナ等の必要な時期を確保していかねばならない。  
現状では特にマイナス面は出ていないが、今後、物流のコスト面に影響が出てくる懸念がある。一方では運賃幅での見積等の格差が生じている。

### 3 自然災害への対応について

南海トラフ地震、大雨・台風への備え等の情報交換を行う。  
防災、安全対策と連絡網体制では2018年に関西を襲った台風の影響で、3日間の電力が止まったことを生かした体制を考える必要がある。ただ、地震についての備えは難しい。特に、電源を確保しパソコンと電話が使用できるように対処していきたい。  
令和7年1月に、阪神大震災から30年となることから、自然災害対策への啓発活動で教訓を得る。

### 4 その他

\*今後3件の行事日程を確認した。  
●全日本一般缶工業団体連合会  
新年賀詞交歓会開催  
日時…令和7年1月17日(金) 18:00  
場所…東京都千代田区大手町「東京会館」  
●合同部会・技術交流会開催  
日時…令和7年1月23日(木) 16:00  
場所…アウイーナ大阪3階「桔梗の間」  
●工場見学会開催  
日時…令和7年2月18日(火) 1日  
場所…日本製鉄/名古屋製鉄所



### 日本製鉄株式会社

代表取締役社長兼COO  
今井 正  
東京都千代田区丸の内二一六一  
FAX 〇三(六八六七)四九九六

### JFEスチール株式会社

代表取締役社長 広瀬 政之  
東京都千代田区内幸町二二一一三  
電話 〇三(三三九九七)三一一一

### 東洋鋼板株式会社

代表取締役社長 甲斐 政浩  
東京都品川区東五反田二一一八一  
電話 〇三(四五三二)六八六〇  
FAX 〇三(三二二八〇)八一六〇

### 日本製罐株式会社

代表取締役社長 西尾 文隆  
埼玉県さいたま市北区吉野町 二二二七五  
電話 〇四八(六六五)二二五二  
FAX 〇四八(六六五)九〇三二

### 全日本一般缶工業団体連合会

会長 清水 水雄 一 裕光  
副会長 最上 裕光  
副会長 安藤 宏行  
東京都台東区浅草橋五二四一五  
電話 〇三(五八〇九)三二二六  
電話 〇三(五八〇九)三二二六

### 東日本一般缶工業協同組合

理事長 最上 裕光  
東京都台東区浅草橋五二四一五  
電話 〇三(五八〇九)三二二六  
FAX 〇三(三八六四)〇九一一

### 西日本一般缶工業協同組合

理事長 清水 水雄 一郎  
大阪府大阪市北区天神橋  
二一四一七 千代田第一ビル  
電話 〇六(六三三三)一九七三  
FAX 〇六(六三三三)一九六七

### 中部製罐工業協同組合

理事長 安藤 宏行  
愛知県岡崎市宮地町字郷東三九  
電話 〇五六四(五一)一五六一  
FAX 〇五六四(五一)一五六三

### 全日本金属印刷工業協同組合

会長 中田 正和  
東京都墨田区業平 一一二一六  
本所ビル二階  
電話 〇三(三六二六)二四一一  
FAX 〇三(三六二六)二五〇二

### 東京都鍼力地金商業協同組合

理事長 松苗 昭文  
東京都中央区日本橋大伝馬町一七  
電話 〇三(三六六三)八三五七  
FAX 〇三(三六六三)八三五八

### 最上CAN株式会社

代表取締役 最上 裕光  
埼玉県久喜市清久町二一三  
電話 〇四八〇(九六一)六九〇  
FAX 〇四八〇(九六一)七四三

### 金方堂松本工業株式会社

代表取締役社長 松本 旭央  
東京都台東区東上野一二八一一二  
電話 〇三(三八三二)一一九一  
FAX 〇三(三八三一)七一四四

### 工又工金属工業株式会社

代表取締役社長 中田 則彦  
茨城県つくば市緑ヶ原四一六

### 水戸部製缶株式会社

代表取締役社長 水戸部 伸寿  
東京都千代田区神田和泉町 一一三一一  
電話 〇三(三八六六)一六六六  
FAX 〇三(三八六六)三三八八

### 江戸川製罐株式会社

代表取締役 岩田 明義  
東京都江戸川区平井五二五五一一  
電話 〇三(三六一二)四一三一  
FAX 〇三(三六一七)五〇三四

### 齋藤製罐株式会社

代表取締役 齋藤 光由  
神奈川県横浜市瀬谷区本郷 一四六一八  
電話 〇四五(三〇)五九一一  
FAX 〇四五(三〇)五九三五

### 株式会社神宮製作所

代表取締役 神宮 芳次郎  
千葉県野田市上三ヶ尾二六一  
電話 〇四(七二五)二二六一  
FAX 〇四(七二五)三三三七

### 株式会社東都製缶

代表取締役 横川 達也  
埼玉県吉川市土場九三  
電話 〇四八(九八一)〇四七一  
FAX 〇四八(九八一)〇四七六

### 東邦金属工業株式会社

代表取締役 吉田 亜津史  
東京都江戸川区松島四一三七一六  
電話 〇三(三六五四)八九一一  
FAX 〇三(三六五五)七三四八

### 株式会社ヒロハマ

代表取締役 廣濱 庄一郎  
東京都墨田区石原二二八一一一  
電話 〇三(三六二五)一六八〇  
FAX 〇三(三六二五)一六八八

### 大阪製罐株式会社

代表取締役社長 清水 水雄 一郎  
大阪府東大阪市岩田町一三二二八  
電話 〇六(六七三)五五四五  
FAX 〇六(六七二)三四七〇

### 生野金属株式会社

代表取締役 小西 康晴  
大阪府高石市高砂三一二四  
電話 〇七二(二六八)〇七七七  
FAX 〇七二(二六八)〇七八二

### 明和金属工業株式会社

代表取締役 渋谷 剛志  
大阪府高石市取石七二一六一六  
電話 〇七二(二七四)二二〇一  
FAX 〇七二(二七四)六三六五

### 工一ス精器株式会社

代表取締役 有山 健一  
大阪府東大阪市西石切町 六一六一四  
電話 〇七二(九八二)〇〇八一  
FAX 〇七二(九八二)〇〇六七

### 江戸川製罐工業株式会社

代表取締役社長 渡邊 達也  
大阪府大阪市鶴見区今津北 一七一一八  
電話 〇六(六九六八)六七六一  
FAX 〇六(六九六二)三二五八

### 奥村製罐株式会社

代表取締役社長 奥村 清司  
京都府綴喜郡井手町多賀西松ヶ花一  
電話 〇七七四(八二)二〇七八  
FAX 〇七七四(八二)四三二四

### 下宮金属工業株式会社

代表取締役 下宮 正裕  
大阪府堺市堺区南島町三丁一三一  
電話 〇七二(二二三)八一二〇  
FAX 〇七二(二二三)八一四〇

### 株式会社ゼンユー

代表取締役社長 砂川 秀樹  
大阪府大阪市淀川区加島 四一〇一四四  
電話 〇六(六三〇)四〇三二  
FAX 〇六(六三〇)二二〇〇

### 光工業株式会社

代表取締役 吉田 龍一  
広島県東広島市志和町冠 一六五一一  
電話 〇八二(四三三)五四〇一  
FAX 〇八二(四三三)五四五三



**日東製罐販売株式会社**  
代表取締役社長 安藤宏行  
愛知県岡崎市宮地町字郷東三九  
電話 〇五六四(五二)五六一  
FAX 〇五六四(五一)一五六三

**スチールリーフ株式会社**  
代表取締役社長 茂木孝之  
東京都葛飾区亀有五十四八八一五  
電話 〇三(三六二)八〇三〇  
FAX 〇三(三六二)八〇六〇

**株式会社日本金属印刷所**  
代表取締役 若松幹雄  
東京都墨田区業平三二一〇一九  
電話 〇三(三六二)六一〇一  
FAX 〇三(三六二)六一〇四

**松本金属工業株式会社**  
代表取締役社長 松本勝俊  
大阪府大阪市北区天満二二二一八  
電話 〇六(六三三)〇九四三  
FAX 〇六(六三三)七六四〇

**日西製罐株式会社**  
代表取締役 矢谷満里子  
大阪府大東市御領三一五一二〇  
電話 〇七二(八七四)〇九七一  
FAX 〇七二(八七五)四二五二

**静岡製缶有限公司**  
代表取締役 松永明人  
静岡県静岡市駿河区豊田二一八一八  
電話 〇五四(二八七)〇一三三  
FAX 〇五四(二八七)〇五〇五

**エイコー株式会社**  
代表取締役 菊井 治  
埼玉県草加市苗塚町五七七  
電話 〇四八(九二二)八三七三  
FAX 〇四八(九二二)八三七五

**二橋プリント株式会社**  
代表取締役 二橋英之  
埼玉県三郷市彦川戸一三八一六  
電話 〇四八(九五三)三三六一  
FAX 〇四八(九五三)五四二一

**株式会社井上博商店**  
代表取締役社長 井上歩美  
大阪府大阪市住吉区万代東  
電話 〇六(六六九)一一二五  
FAX 〇六(六六九)一一二七

**三國金属工業株式会社**  
代表取締役社長 板垣 毅  
大阪府豊中市豊南町西四一七一一〇  
電話 〇六六(三三三)〇二五一  
FAX 〇六六(三三三)〇二五五

**高野興業株式会社**  
代表取締役 高野康弘  
東京都墨田区本所一―二―三  
電話 〇三(三六二)一一六六  
FAX 〇三(三六二)六二六四

**株式会社MOBY**  
代表取締役社長 石原拓大  
千葉県市川市塩浜一―一―四  
電話 〇四七(三三〇)〇二一〇  
FAX 〇四七(三三〇)〇二一九

**株式会社城北鋳力印刷工業所**  
代表取締役 竹腰忠臣  
千葉県野田市木間ヶ瀬二五〇一―一  
電話 〇四(七一九)二六一一  
FAX 〇四(七一九)二七七九

**JFE商事プリキセンター株式会社**  
代表取締役 田中和哉  
大阪府大東市新田旭町六一―二  
電話 〇七二(八七〇)九七三二  
FAX 〇七二(八七〇)九七三〇

**山雄製缶工業株式会社**  
代表取締役 山本浩之  
大阪府大阪市北区大淀中  
電話 〇六六(四五)五一四一  
FAX 〇六六(四五)〇八二一

**富安株式会社**  
代表取締役社長 川合正明  
東京都墨田区太平四―五―一五  
電話 〇三(五六二)七七七〇  
FAX 〇三(五六二)七七六〇

**大成ブリキ印刷株式会社**  
代表取締役社長 中田正和  
茨城県稲敷郡河内町長竿  
電話 〇二九七(八六)二二〇一  
FAX 〇二九七(八六)二四二〇

**株式会社江連金属印刷所**  
代表取締役 江連 一  
千葉県松戸市上本郷八一  
電話 〇四七(三三二)〇一三五  
FAX 〇四七(三三二)八七二五

**是松鋼商株式会社**  
代表取締役社長 是松 一郎  
大阪府東大阪市楠根二丁目六一―三  
電話 〇六(六七四)二三六一  
FAX 〇六(六七四)〇四〇〇

**有限会社山野初製缶所**  
代表取締役 木下光美  
大阪府八尾市太田七―一―〇  
電話 〇七二(九四八)〇五五八  
FAX 〇七二(九四八)二八五五

**中村商事株式会社**  
代表取締役社長 中村 定  
東京都千代田区神田和泉町一―七―一  
電話 〇三(五六八)五九一一  
FAX 〇三(五六八)六一五五

**東都金属印刷株式会社**  
代表取締役 菅谷誠一  
千葉県船橋市小野田町一五二―三  
電話 〇四七(四五七)五四六一  
FAX 〇四七(四五七)七二三八

**新里機工株式会社**  
代表取締役 金澤 幸一  
埼玉県川口市東領家四―七―一  
電話 〇四八(二九二)九〇九七  
FAX 〇四八(二九二)九〇九八

**三幸商事株式会社**  
代表取締役社長 武田有広  
大阪府大阪市西区北堀江  
電話 〇六(六五四)九三三二  
FAX 〇六(六五四)三五八八

**株式会社ライトハウス金属工場**  
代表取締役 岩橋 徹  
大阪府大阪市鶴見区今津中  
電話 〇六六(九六三)〇四四一  
FAX 〇六六(九六八)二二九八

**明邦鋼業株式会社**  
代表取締役社長 藪内敏行  
埼玉県越谷市新川町一―一―四五  
電話 〇四八(九八七)〇七〇一  
FAX 〇四八(九八七)〇七三〇

**富安金属印刷株式会社**  
代表取締役社長 菊井洋祐  
埼玉県草加市苗塚町五七七  
電話 〇四八(九二五)一五八一  
FAX 〇四八(九二五)二六二〇

**株式会社N・P・W技研**  
代表取締役 山本亮太  
三重県伊勢市佐八町八九四  
電話 〇五九六(三九)一一三三  
FAX 〇五九六(三九)一一三六

**株式会社神光**  
代表取締役 小河朋久  
大阪府吹田市南正雀一―二八―一  
電話 〇六(六三三)四四六六  
FAX 〇六(六三三)六〇一一



### 西部容器株式会社

代表取締役社長 川島大吾  
大阪府摂津市別府二一三一一八  
電話 〇六六三三四九一六六一  
FAX 〇六六三三四九七二二八

### 株式会社 愛罐コーポレーション

代表取締役 菅井秀容  
東京都渋谷区本町二一三九一四  
電話 〇三三五〇四五五一五  
FAX 〇三三五〇四五五一六

### 大貫金属工業株式会社

代表取締役 大貫雄一  
東京都葛飾区西新小岩 五一七一一八  
電話 〇三三三六九一六一七九  
FAX 〇三三三六九一六一七九

### 株式会社 セゾン保険サービス

代表取締役社長 渡邊美彦  
東京都豊島区東池袋四一一一一  
アウルタワー4階  
電話 〇三三三九八八八三三二  
FAX 〇三三三九八八五九九八四

### 千代田第一工業株式会社

代表取締役社長 鈴木信夫  
東京都狛江市岩戸北三一一一九  
電話 〇三三三三八八四二一一  
FAX 〇三三三三三〇〇四三七

### 東日本一般缶工業協同組合 CPSM会

令和6年11月6日取手国際ゴルフ倶楽部で第75回CPSM会を開催した。参加者は20人。  
上位の入賞者は次の通り。

優勝	片山雅朗氏 (スチールリーフ)	46
二位	中村匡宏氏 (神宮製作所)	50
三位	中村仁氏 (富安金属印刷)	96
シニア枠	中田正和氏 (大成プリキ印刷)	25
優勝	片山雅朗氏	49
		47
		90
		10
		80
		43
		47
		96
		18
		78



CPSM会 優勝 片山雅朗氏

### 缶友会・ゴルフ会

令和6年10月30日奈良国際ゴルフ倶楽部で晴天の下、第163回のゴルフ会を開催した。  
上位の入賞者は次の通り

優勝	佐々木浩司氏 (富安金属印刷)	51
二位	増田竜介氏 (井上博商店)	44
三位	是松一郎氏 (是松鋼商)	21.6
		76.2
		77.0
		46
		49
		18.0



缶友会ゴルフ会 参加者の皆様

### 令和6年8月から 令和7年1月までの行事

#### 東日本一般缶工業協同組合

- 令和6年 8/26 流通・交流委員会 営業流通チーム打合せ(Zoom)
- 8/28 納涼会
- 9/5 東京中央会「事業継承セミナー」
- 9/18 東京中央会「令和6年度上期 情報連絡員報告会」
- 9/25 東京中央会「中小企業トップセミナー」
- 10/9 CPSM会幹事会
- 10/16 PPR委員会SDGsチーム 打合せ(ZOOM)
- 10/17 人材育成委員会技術・ITチーム「工場見学会」
- 11/5 エヌエス金属工業(株) 臨時3役会
- 11/6 第75回CPSM会
- 11/7 東京都経営支援課「令和6年度団体情報連絡会」(Zoom)
- 11/22 第3回理事会
- 11/22 流通・交流委員会 営業流通チーム「情報交換会」忘年会
- 11/22 臨時理事会(ZOOM)
- 令和7年 1/9 東京中央会「新年賀詞交歓会」
- 1/17 第4回理事会

#### 西日本一般缶工業協同組合

- 令和6年 8/2 役員会
- 9/18 大阪府中央会大会 4S会会議
- 10/30 缶友会ゴルフ
- 10/32 合同部会
- 11/14 役員会
- 令和7年 1/7 組合新春懇親会
- 1/9 互礼会
- 1/23 合同部会・技術交流会会議
- 令和6年 9/11 エコプロ2024 「第1回出展ブースWG会議」

#### 全日本一般缶工業団体連合会

- 令和6年 9/11 エコプロ2024 「第1回出展ブースWG会議」

### 令和7年2月から 8月までの行事予定

#### 東日本一般缶工業協同組合

- 10/16 エコプロ2024 「第2回出展ブースWG会議」
- 10/16 第1回全日本一般缶 PPR活動推進協議会(Zoom)
- 10/23 経済産業省金属課「令和6年度般缶業況ヒアリング」
- 10/29 スチール缶連絡協議会「日本製缶協会」
- 11/25 エコプロ2024 「出展ブース配布資料セット」
- 12/4 エコプロ2024 「共同出展」
- 令和7年 1/10 三役年開始挨拶回り
- 1/10 ドラム缶工業会「新年賀詞交換会」
- 1/15 全国十八リットル缶工業組合連合会「新年賀詞交換会」
- 1/17 第2回理事会(役員会)・第2回全日本一般缶 PPR活動推進協議会
- 1/17 令和7年新年賀詞交歓会
- 1/31 スチール缶連絡協議会
- (スチール缶リサイクル協会)

#### 西日本一般缶工業協同組合

- 令和7年 2/18 日本製鉄/名古屋製鉄所工場見学会
- 3/25 役員会
- 4月上旬 4S会ゴルフ
- 5月中旬 缶友会ゴルフ
- 5/22 第57期定時総会
- 6月上旬 合同部会
- 8/1 役員会
- 令和7年 3/13 第3回理事会(役員会)
- 3/13 第3回全日本一般缶 PPR活動

#### 全日本一般缶工業団体連合会

- 令和7年 3/13 第3回理事会(役員会)
- 3/13 第3回全日本一般缶 PPR活動

### 組合伝言板

〔加入〕  
西日本賛助会員 神崎金属印刷(株) 代表取締役 石川江平氏 令和7年1月

〔脱退会員〕  
東日本組合員 大貫金属工業(株) 〒124-0025 東京都葛飾区西新小岩5-17-18 令和6年10月1日より

〔住所変更〕  
東日本組合員 平和製罐(株) 泉野工場 〒598-0048 大阪府泉佐野市りんくう往来北2番5 電話 072-1461-0100 FAX 072-1461-0105 令和6年9月24日より

〔お悔やみ〕  
東日本組合員 須貝富夫様 (須貝金属工業所) 取締役社長 須貝富夫様 (逝去) 令和6年10月26日

明邦鋼業(株) 代表取締役社長 酒匂博之様 (逝去) 令和6年6月15日

東日本協賛会員 (株)愛罐コーポレーション 会長 栗田敬士様 (逝去) 令和6年10月1日